

3. 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち

3-①-1 どんな悩みごとでも受け止める相談体制の強化

84	3-①-1	1	福祉における包括的相談支援事業《一部介護保険事業会計》 〔福祉総務課、高齢者福祉課〕		
概要	支援を要する区民の相談を、包括的に受けとめ、一人ひとりの状況に応じ適切な支援を行っていく。				
R5実績		R6予算		R7計画	
●コミュニティソーシャルワーク事業 個別相談支援件数 10,158件 暮らしの何でも相談会実施回数 344件 ●見守りと支え合いネットワーク事業 訪問延べ世帯数 2,415件 ●高齢者総合相談センター運営事業 (8か所) 相談件数(延べ件数) 67,479件		●コミュニティソーシャルワーク事業 個別相談支援件数 11,500件 暮らしの何でも相談会実施回数 350件 ●見守りと支え合いネットワーク事業 訪問延べ世帯数 2,880件 ●高齢者総合相談センター運営事業(8か所) 相談件数(延べ件数) 66,000件		●コミュニティソーシャルワーク事業 個別相談支援件数 12,400件 暮らしの何でも相談会実施回数 350件 ●見守りと支え合いネットワーク事業 訪問延べ世帯数 2,880件 ●高齢者総合相談センター運営事業(8か所) 相談件数(延べ件数) 68,000件	
事業費 (一財)	546,459千円 (143,486千円)	574,009千円 (156,649千円)		590,818千円 (168,795千円)	
R8,9の 方向性	包括的な相談支援体制の推進				
成果 指標	福祉における相談支援件数 (コミュニティソーシャルワーク事業における個別相談支援件数、高齢者総合相談センターの相談件数) (件)				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	63,000	77,637	123.2%	78,400	81,300
活動 指標	コミュニティソーシャルワーク事業の暮らしの何でも相談会の実施回数 (回)				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	330	344	104.2%	350	350
備考	コミュニティソーシャルワーク事業経費(一部)、基幹型地域包括センター運営経費(R6まで)、地域包括支援センター運営事業経費【拡】、介護予防マネジメント強化事業経費(介護保険事業会計)、高齢者見守り支援事業経費(一部)				

85	3-①-1	2	障害者相談支援関連事業 〔障害福祉課（障害支援担当課長）〕		
概要	障害の種別にかかわらず適切に対応できる相談体制の構築とともに、区内の相談支援事業所における相談機能の強化を図る。また、保健、医療、障害福祉、保育、教育等の連携を進め、医療的ケア児（者）を地域で支える取組を推進する。				
R5実績		R6予算		R7計画	
●障害者地域支援協議会の運営 協議会 2回 専門部会 計6回 研修会 3回		●障害者地域支援協議会の運営 協議会 2回 専門部会 計6回 研修会 3回		●障害者地域支援協議会の運営 協議会 3回 専門部会 計6回 研修会 3回	
●医療的ケア児（者）支援事業 連絡会 3回 協議会 2回 交流会 1回		●医療的ケア児（者）支援事業 窓口相談実施（10月から開設） 延300件 連絡会 3回 協議会 2回 交流会 1回		●医療的ケア児（者）支援事業 窓口相談実施 延600件 連絡会 3回 協議会 2回 交流会 1回	
●基幹相談支援センター事業 セミナー開催 3回 連絡会 4回 心理相談 9件 計画相談支援 20件		●基幹相談支援センター事業 セミナー開催 3回 連絡会 2回 事例検討会の開催 12件 心理相談 24件 計画相談支援 20件		●基幹相談支援センター事業 セミナー開催 3回 連絡会 4回 事例検討会の開催 12件 心理相談 24件 計画相談支援 20件	
●発達障害者支援事業 窓口相談実施 延414件 専門相談・支援方針会議 23回 ネットワーク会議 3回 カウンセリング費用助成 延492件 講演会・事例検討会 4回 サポートファイル・リーフレット作製		●発達障害者支援事業 窓口相談実施 延440件 専門相談・支援方針会議 24回 ネットワーク会議 3回 カウンセリング費用助成 延440件 講演会・事例検討会 4回 サポートファイル・リーフレット作製		●発達障害者支援事業 窓口相談実施 延440件 専門相談・支援方針会議 24回 ネットワーク会議 3回 カウンセリング費用助成 延440件 講演会・事例検討会 4回 サポートファイル・リーフレット作製	
●高次脳機能障害者支援対策事業 専門相談 23件 連絡会・講演会等 4回 作業療法士による評価・指導 235件		●高次脳機能障害者支援対策事業 専門相談の実施 24件 連絡会・講演会等の開催 4回 作業療法士等による評価・指導 150件		●高次脳機能障害者支援対策事業 専門相談の実施 24件 連絡会・講演会等の開催 4回 作業療法士等による評価・指導 150件	
事業費 （一財）	4,520千円 （△10,622千円）		7,593千円 （△442千円）		5,792千円 （△12,421千円）
R8,9の 方向性	・医療的ケア児（者）に対する相談支援体制強化 ・区内相談支援事業所の連携強化				
成果 指標	相談・指導件数（件）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	22,000	27,516	125.1%	28,000	29,000
活動 指標	相談支援関係会議開催数（回）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	53	54	101.9%	55	56
備考	障害者地域支援協議会経費、医療的ケア児等支援事業関係経費（一部）、基幹相談支援センター事業経費、発達障害者支援事業経費、高次脳機能障害者支援対策事業経費				

86	3-①-1	3	福祉包括化推進事業 【福祉総務課】		
概要	関係機関に包括化推進員を配置し部会で共有することで、個別の課で対応できない分野横断的な案件などに対する支援体制を構築し、制度の狭間に陥ることがないように連携体制を強化する。				
R5実績			R6予算		R7計画
福祉包括化推進事業 支援検討件数 11件 推進部会の実施回数 10回			福祉包括化推進事業 支援検討件数 48件 推進部会の実施回数 12回		福祉包括化推進事業 支援検討件数 48件 推進部会の実施回数 12回
事業費 (一財)	7,400千円 (△175千円)		7,400千円 (△175千円)		7,400千円 (200千円)
R8,9の 方向性	支援検討体制の強化				
成果 指標	福祉包括化推進部会の支援検討件数（件）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	48	11	22.9%	40	40
活動 指標	福祉包括化推進部会の実施回数（回）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	12	9	75.0%	12	12
備考	福祉包括化推進事業経費				

87	3-①-1	4	犯罪被害者等支援事業 【福祉総務課】		
概要	犯罪被害者及びその家族専用の犯罪被害者等支援窓口を設置し、必要な支援や手続きにつないでいく。また、犯罪被害者等への支援のあり方について、関係機関等を集めた検討委員会を設置し、検討を進める。				
R5実績		R6予算		R7計画	
				犯罪被害者等支援相談窓口の開設・運営	
				犯罪被害者等支援のあり方検討委員会設置	
				条例制定シンポジウムの開催	
事業費 (一財)					510千円 (510千円)
R8,9の 方向性	犯罪被害者等支援相談窓口開設および支援内容の周知 関係機関等との連携推進による支援体制の強化				
成果 指標	犯罪被害者等支援に向け連携した関係機関等の団体数（団体）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	—	—	—	—	10
活動 指標	犯罪被害者等支援のあり方検討委員会の開催（回）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	—	—	—	—	1
備考	犯罪被害者等支援事業経費【新】				

3-①-2 住み慣れた地域で暮らし続けられる支援体制の強化

88	3-①-2	1	権利擁護推進事業《一部介護保険事業会計》 〔福祉総務課、高齢者福祉課、障害福祉課（障害支援担当課長）〕		
概要	福祉サービス利用者への権利擁護の推進、成年後見制度の利用促進を目的とし、権利擁護支援全体のコーディネートを行う中核機関である豊島区民社会福祉協議会への助成、及び成年後見人等に対する報酬助成を行う。				
R5実績		R6予算		R7計画	
●福祉サービス権利擁護支援室運営助成事業 ・相談・苦情対応（一般相談 4,539件、専門相談 27件、苦情相談 32件） ・福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業 59件 ※期末契約件数） ・法人後見・監督の実施（法人後見 8件、後見監督受任 4件 ※期末件数）		●福祉サービス権利擁護支援室運営助成事業 ・相談・苦情対応（一般相談、専門相談、苦情相談） ・福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業） ・法人後見・監督の実施		●福祉サービス権利擁護支援室運営助成事業 ・相談・苦情対応（一般相談、専門相談、苦情相談） ・福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業） ・法人後見・監督の実施	
●成年後見制度利用促進事業 ・制度の相談支援及び利用支援（一般相談 4,539件、専門相談 27件、後見支援相談 26件） ・利用促進に関する講座等 7回 ・区民後見人のための連絡会・研修 6回 ・豊島区権利擁護支援方針検討会議 24回 ・豊島区成年後見等利用促進協議会 2回		●成年後見制度利用促進事業 ・制度の相談支援及び利用支援（一般相談、専門相談、後見支援相談） ・利用促進に関する講座等 7回 ・区民後見人のための連絡会・研修 6回 ・豊島区権利擁護支援方針検討会議 24回 ・豊島区成年後見等利用促進協議会 2回		●成年後見制度利用促進事業 ・制度の相談支援及び利用支援（一般相談、専門相談、後見支援相談） ・利用促進に関する講座等 7回 ・区民後見人のための連絡会・研修 6回 ・区民後見人の養成 ・豊島区権利擁護支援方針検討会議 24回 ・豊島区成年後見等利用促進協議会 2回	
●成年後見制度関係事業 区長申立て 高齢者 41件 障害者 2件 成年後見等報酬助成 高齢者 43件 障害者 8件		●成年後見制度関係事業 区長申立て 高齢者 50件 障害者 5件 成年後見等報酬助成 高齢者 71件 障害者 6件		●成年後見制度関係事業 区長申立て 高齢者 50件 障害者 5件 成年後見等報酬助成 高齢者 65件 障害者 11件 成年後見申立費用助成 高齢者 4件 障害者 1件	
事業費 （一財）	57,601千円 （29,309千円）		75,051千円 （38,416千円）		76,882千円 （40,803千円）
R8,9の 方向性	・意思決定支援に係る研修の実施 ・成年後見人等の担い手の育成及び活躍支援 ・制度の普及・啓発及び相談支援体制の充実				
成果 指標	成年後見制度の利用者数（人）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	580	580	100.0%	590	600
活動 指標	福祉サービスの利用や成年後見制度に関する相談（福祉サービス権利擁護支援室サポートとしま受付分）（件）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	3,960	4,539	114.6%	4,600	4,700
備考	福祉サービス権利擁護支援室運営費助成経費、成年後見制度利用促進事業経費、成年後見制度関係経費(高齢者)(介護保険事業会計)【新】、成年後見制度関係経費(障害)【新】				

89	3-①-2	2	終活サポート事業 【高齢者福祉課】		
概要	終活相談窓口として「終活あんしんセンター」を設置し、区民からの相談に対応するほか、区内葬祭事業者等との連携により、一人暮らし高齢者等の「終活」を支援し、老後の不安を軽減する。				
R5実績			R6予算		R7計画
終活あんしんセンター延相談件数 755件			終活あんしんセンター相談対応 780件		終活あんしんセンター相談対応 800件
終活情報登録事業実績 43名			終活情報登録事業実施 50名		終活情報登録事業実施 60名
			終活あんしんノート作成 2,000部		
事業費 (一財)	8,247千円 (8,247千円)		8,877千円 (8,877千円)		8,360千円 (4,205千円)
R8,9の 方向性	引き続き制度の周知及び利用促進を図る。				
成果 指標	情報登録者数(累計) (人)				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	40	43	107.5%	50	60
活動 指標	相談延べ件数 (件)				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	900	755	83.9%	780	800
備考	終活サポート事業経費				

90	3-①-2	3	障害者地域生活支援関連事業 〔障害福祉課（障害支援担当課長）〕		
概要	障害のある方が、安心して地域での日常生活を過ごすことができるよう、日常生活用具等の給付や介護者不在時の緊急時対応を図るとともに、医療的ケア児（者）等やその家族への支援体制の充実を図る。				
R5実績		R6予算		R7計画	
●医療的ケア児（者）支援 ・目白分室の運営 ・地域活動支援センター医ケア機能強化		●医療的ケア児（者）支援 ・放課後等デイサービス事業所の看護職員加配に伴う人件費補助 ・障害児通所支援事業所の開所費用補助 ・医療的ケア児等コーディネーター業務経費補助 ・目白分室の運営 ・地域活動支援センター医ケア機能強化		●医療的ケア児（者）支援 ・放課後等デイサービス事業所の看護職員加配に伴う人件費補助 ・障害児通所支援事業所の開所費用補助 ・医療的ケア児等コーディネーター業務経費補助 ・目白分室の運営 ・地域活動支援センター医ケア機能強化	
●重症心身障害児（者）等在宅レスパイト事業 年度末登録者数 24人 延べ利用回数 272回		●重症心身障害児（者）等在宅レスパイト事業 年度末登録者数 27人 延べ利用回数 242回		●重症心身障害児（者）等在宅レスパイト事業 年度末登録者数 27人 延べ利用回数 332回	
●地域生活支援拠点等コーディネーター配置 4名 拠点事業所 2事業所 認定拠点事業所 8事業所		●地域生活支援拠点等コーディネーター配置 4名 拠点事業所 2事業所 認定拠点事業所 10事業所		●地域生活支援拠点等コーディネーター配置 4名 拠点事業所 2事業所 認定拠点事業所 30事業所	
●移動支援 延べ1,887人 26,405時間		●移動支援 延べ2,400人 30,000時間		●移動支援 延べ2,640人 32,400時間	
●日常生活用具給付・設備改善費給付 延べ3,392件		●日常生活用具給付・設備改善費給付 延べ5,390件		●日常生活用具給付・設備改善費給付 延べ5,510件	
事業費 （一財）	290,205千円 （244,147千円）		320,962千円 （187,328千円）		311,262千円 （183,021千円）
R8,9の 方向性	・認定拠点事業所の増加 ・移動支援受託事業者の増加				
成果 指標	緊急対応に向けた事前登録者数（人）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	2	1	50.0%	10	20
活動 指標	拠点コーディネーター対応件数〔緊急時の受入、体験の場の機会提供、専門人材確保・育成、地域の体制づくり〕（件）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	350	359	102.6%	350	350
備考	医療的ケア児等支援事業関係経費(一部)、障害児通所支援事業経費(一部)、地域活動支援センター運営費補助事業経費(一部)、目白施設管理運営経費(一部)、重症心身障害児(者)等在宅レスパイト事業経費、地域生活支援拠点コーディネート事業経費、障害者移動支援及び日常生活用具等給付費				

3-①-3 社会とのつながりや参加を支える仕組みづくり

91	3-①-3	1	孤独・孤立対策事業 【福祉総務課（自立支援担当課長）、高齢者福祉課】		
概要	生活支援推進員、ひきこもり相談員等により、本人が望む社会とのつながりが実現できるよう支援するほか、居場所づくりなどのつながりが生まれる取組を推進する。				
R5実績		R6予算		R7計画	
●ひきこもり支援事業 新規相談者数 122人		●ひきこもり支援事業 新規相談者数 100人		●ひきこもり支援事業 新規相談者数 100人	
●生活支援体制整備事業 地域の関係者と協働して高齢者の生活課題に対応する生活支援推進員を配置 ・第1層コーディネーター ・第2層コーディネーター8か所 ささえ合いの仕組みづくり協議会 3回		●生活支援体制整備事業 ・第1層コーディネーター ・第2層コーディネーター8か所 ささえ合いの仕組みづくり協議会 3回		●生活支援体制整備事業 ・第1層コーディネーター ・第2層コーディネーター8か所 ささえ合いの仕組みづくり協議会 3回	
●高齢者のための誰でも食堂推進助成事業 食堂の開催回数 4団体 11回		●高齢者のための誰でも食堂推進助成事業 食堂の開催回数 10団体 120回		●高齢者のための誰でも食堂推進助成事業 食堂の開催回数 20団体 360回	
事業費 (一財)	65,283千円 (18,129千円)	65,656千円 (20,304千円)		59,806千円 (16,836千円)	
R8,9の 方向性	事業周知と継続的な支援の実施				
成果 指標	区民意識調査「地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」について肯定的な回答をする区民の割合（％）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	—	—	—	15.0	17.0
活動 指標	ひきこもり支援事業による新規相談者数（件）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	100	122	122.0％	100	100
備考	ひきこもり支援事業経費【拡】、生活支援体制整備事業経費、高齢者のための誰でも食堂推進助成事業経費				

92	3-①-3	2	生活困窮者・被保護者就労支援事業 〔福祉総務課（自立支援担当課長）、生活福祉課、西部生活福祉課〕		
概要	早期就労に課題を抱える方について個々の課題に応じた就労支援を行い、就労後は関係機関と連携した就労継続のための支援を行う。				
R5実績		R6予算		R7計画	
●生活困窮者自立支援事業 就労準備支援プラン数 84件		●生活困窮者自立支援事業 就労準備支援プラン数 87件		●生活困窮者自立支援事業 就労準備支援プラン数 90件	
●被保護者自立支援事業 就労支援専門員支援対象者数 367人 就労準備支援対象者数 72人		●被保護者自立支援事業 就労支援専門員支援対象者数 300人 就労準備支援対象者数 90人		●被保護者自立支援事業 就労支援専門員支援対象者数 300人 就労準備支援対象者数 90人	
事業費 （一財）	65,262千円 （18,816千円）	65,210千円 （18,705千円）		65,292千円 （18,377千円）	
R8,9の 方向性	就労と就労を継続するための支援の推進				
成果 指標	くらし・しごと相談支援センターにおける就労準備支援事業対象者のうち就労を開始した人の割合（％）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	70.0	67.8	96.8％	72.0	75.0
活動 指標	くらし・しごと相談支援センターにおける就労準備支援プラン数（件）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	85	84	98.8％	87	90
備考	生活困窮者自立支援制度関係経費（一部）【拡】、被保護者自立支援事業経費（一部）				

93	3-①-3	3	障害者就労支援事業 【障害福祉課（障害支援担当課長）】		
概要	障害のある方が安心して働くことができるよう、障害者就労支援センターにおいて就労に関わる相談や支援を行う。併せて、重度障害者等で現在就労している方に対し、福祉的支援及び通勤における支援を実施する。				
R5実績		R6予算		R7計画	
●障害者就労支援センター 支援登録者数 1,184人 （うち新規登録者数 62名） 就業者数 31名 相談総件数 8,988件		●障害者就労支援センター 支援登録者数 1,244人 （うち新規登録者数 60名） 就業者数 30名 相談総件数 12,500件		●障害者就労支援センター 支援登録者数 1,304人 （うち新規登録者数 60名） 就業者数 30名 相談総件数 12,500件	
				●重度障害者就労支援事業 ・ホームページによる周知 ・チラシ作成及び対象者への配布 ・訪問による説明	
事業費 （一財）	300千円 （300千円）	907千円 （907千円）	7,557千円 （4,833千円）		
R8,9の 方向性	・新たな障害者雇用モデルの実証実験など、先進的な障害者就労支援策を展開（地域開拓促進の取組強化） ・重度障害者就労支援事業の制度の周知及び利用促進				
成果 指標	就労定着率（区市町村障害者就労支援事業実績報告書の離職した人数/就職者実績人数）（％）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	90.0	93.5	103.9%	90.0	90.0
活動 指標	就労支援相談件数（件）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	12,500	8,988	71.9%	12,500	12,500
備考	障害者就労支援事業経費、重度障害者等就労支援事業経費【新】				

3-①-4 年齢や障害にかかわらず、いきいきと生活し続けるための支援

94	3-①-4	1	介護予防・健康づくり推進事業 【高齢者福祉課】		
概要	高齢者の介護予防等のため、区民が自主的に介護予防・健康づくりに取り組む団体への支援を行う。また、介護予防活動の促進を図るため介護予防センターの運営を実施する。				
R5実績		R6予算		R7計画	
●高齢者クラブ運営助成事業 単位クラブ数 74クラブ 連合会助成		●高齢者クラブ運営助成事業 単位クラブ数 74クラブ 連合会助成		●高齢者クラブ運営助成事業 単位クラブ数 74クラブ 連合会助成	
●介護予防センター運営事業 来館者数 高田介護予防センター 19,386人 フレイル対策センター 18,423人		●介護予防センター運営事業 来館者数 高田介護予防センター 19,000人 フレイル対策センター 19,000人		●介護予防センター運営事業 来館者数 高田介護予防センター 19,500人 フレイル対策センター 19,000人	
●介護予防による地域づくり推進事業 フレイルチェックの実施 85回		●介護予防による地域づくり推進事業 フレイルチェックの実施 85回 [補正予算分] ●介護予防・フレイル予防推進員業務の委託		●介護予防による地域づくり推進事業 フレイルチェックの実施 85回	
事業費 (一財)	58,854千円 (21,129千円)		72,673千円 (23,124千円)		78,594千円 (23,373千円)
R8,9の 方向性	高齢者クラブや介護予防団体への支援を継続するとともに、介護予防センターの運営を行い介護予防に取り組める場を促進していく。				
成果 指標	区民意識調査「高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている」について肯定的な回答をする区民の割合（％）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	14.0	14.0	100.0％	15	17
活動 指標	介護予防センター等への来館者数（人）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	37,800	37,809	100.0％	39,000	39,000
備考	高齢者クラブ運営助成経費【拡】、介護予防センター運営事業経費【拡】、フレイル対策センター運営事業経費、東京都介護予防・フレイル予防推進員配置事業経費				

95	3-①-4	2	障害者文化活動推進事業 【障害福祉課】		
概要	ときめき想造展（障害者美術展）をはじめとした、様々な発表の場や創作活動の機会を提供し、障害のある方の文化・芸術活動を支援する。活動を通じて、社会参加を促すとともに、広く区民の方に鑑賞してもらい障害者理解の促進を図る。				
R5実績			R6予算		R7計画
・ときめき想造展来場者数 約780人 ・障害者アート教室 開催回数 10回			・ときめき想造展来場者数 約1,000人 ・障害者アート教室 開催回数 10回		・ときめき想造展来場者数 約1,000人 ・障害者アート教室 開催回数 10回
事業費 (一財)	3,494千円 (1,967千円)		3,484千円 (1,425千円)		3,280千円 (1,312千円)
R8,9の 方向性	・ときめき想造展における作品応募者数の増加に取り組む。 ・障害者アート教室において、中高生の受講者数を増やす。				
成果 指標	ときめき想造展延べ来庁者数（人）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	1,000	783	78.3%	1,000	1,000
活動 指標	障害者アートにかかるイベント開催回数（回）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	5	5	100.0%	5	5
備考	障害者文化活動推進事業経費				

3-①-5 暮らしやすく、社会につながる環境の整備

96	3-①-5	1	情報アクセシビリティ向上推進事業 【障害福祉課】		
概要	失語症の方のコミュニケーション支援を行うため、支援者を派遣するとともに、聴覚障害のある方を支援するため、手話通訳者等を派遣する。併せて、手話言語の裾野を拡大するため、初心者向けの手話講習会を開催する。				
R5実績		R6予算		R7計画	
●失語症コミュニケーション支援 派遣先団体数 3団体 支援者登録 14名 意思疎通支援者派遣 延べ54回 延べ217人 支援者研修会 1回		●失語症コミュニケーション支援 支援者登録及び団体への派遣 3団体 55回 支援者研修会の実施 1回		●失語症コミュニケーション支援 支援者登録及び団体への派遣 3団体 55回 支援者研修会の実施 1回 個人への派遣 10回	
●手話通訳者派遣・手話講習会 登録手話通訳者 37名 派遣件数 1,259件 手話講習会受講者数 131人		●手話通訳者派遣・手話講習会 手話通訳者の派遣 1,541回 手話講習会の実施 259回		●手話通訳者派遣・手話講習会 手話通訳者の派遣 1,541回 手話講習会の実施 259回 初心者向け手話講習会の実施 5回	
事業費 (一財)	20,156千円 (10,690千円)	22,210千円 (8,966千円)	22,007千円 (8,770千円)		
R8,9の 方向性	意思疎通支援の充実を図るため、失語症コミュニケーション支援者及び登録手話通訳者の増加を目指す。				
成果 指標	手話通訳派遣件数（件）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	1,300	1,259	96.8%	1,300	1,300
活動 指標	登録手話通訳者数（人）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	35	37	105.7%	39	40
備考	失語症の人のコミュニケーション支援事業経費【拡】、手話通訳派遣・手話講習会事業経費【拡】				

97	3-①-5	2	外出支援事業 〔福祉総務課、障害福祉課〕		
概要	公共施設等の情報を提供するためのバリアフリーマップの更新などの取組を推進。また、視覚障害者が安全に区施設を利用できるよう、音声案内データを提供する。併せて、音声道案内アプリ（shikAI）を活用するため、点字ブロックにQRコードを貼付し、点字ブロックの高機能化を進める。				
R5実績		R6予算		R7計画	
		●福祉のまちづくりガイドマップ事業 掲載施設数 332件		●福祉のまちづくりガイドマップ事業 掲載施設数 350件	
●視覚障害者外出支援事業 ことばの道案内 199ルート 音声道案内アプリ 2ルート		●視覚障害者外出支援事業 ことばの道案内 202ルート 音声道案内アプリ 2ルート		●視覚障害者外出支援事業 ことばの道案内 205ルート 音声道案内アプリ 2ルート	
事業費 （一財）	353千円 （209千円）		13,479千円 （8,312千円）		455千円 （455千円）
R8,9の 方向性	音声道案内アプリの区役所福祉総合フロアまでの延伸				
成果 指標	ことばの道案内アクセス件数（件）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	6,000	17,211	286.9%	17,500	18,000
活動 指標	ことばの道案内作成ルート数（本）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	199	199	100.0%	202	205
備考	福祉のまちづくりガイドマップ関係経費、視覚障害者外出支援事業経費				

3-①-6 共に支えあい、思いやりあふれる地域づくりの推進

98	3-①-6	1	地域づくり支援事業 〔福祉総務課〕		
概要	地域のネットワークの構築、様々な地域団体活動の活性化を図るとともに、サロン活動等新たな支え合い活動の立ち上げ支援、担い手の育成を行う。				
R5実績			R6予算		R7計画
●コミュニティソーシャルワーク事業 「ぶらっと」（小圏域における地域のプラットフォーム）の参加延べ人数 266人 サロン活動等の立ち上げ運営支援 104件			●コミュニティソーシャルワーク事業 「ぶらっと」（小圏域における地域のプラットフォーム）の参加延べ人数 300人 サロン活動等の立ち上げ運営支援 110件		●コミュニティソーシャルワーク事業 「ぶらっと」（小圏域における地域のプラットフォーム）の参加延べ人数 300人 サロン活動等の立ち上げ運営支援 110件
事業費 （一財）	49,711千円 （31,561千円）		50,990千円 （32,840千円）		53,441千円 （32,328千円）
R8,9の 方向性	地域活動団体への支援、地域活動の担い手育成				
成果 指標	地域団体支援・連携件数（件）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	2,800	2,777	99.2%	2,800	2,900
活動 指標	ぶらっと開催回数（回）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	48	34	70.8%	48	48
備考	コミュニティソーシャルワーク事業経費（一部）				

99	3-①-6	2	各種サポーター養成事業《一部介護保険事業会計》 〔高齢者福祉課、障害者福祉課〕		
概要	住民主体の担い手である介護予防サポーター、認知症サポーターの養成を行う。また、障害のある方へのサポート方法を学ぶ講座の開催とともに、サポート方法を収録した動画をYouTubeにより配信する。				
R5実績		R6予算		R7計画	
●認知症サポーター養成講座 1,209人		●認知症サポーター養成講座 1,200人		●認知症サポーター養成講座 1,200人	
●介護予防リーダー養成講座 修了者17人		●介護予防リーダー養成講座 修了者 15人		●介護予防リーダー養成講座 修了者 15人	
●障害者サポート講座 参加者 304人		●障害者サポート講座 参加者 300人		●障害者サポート講座 参加者 300人	
事業費 (一財)	4,946千円 (91千円)		9,177千円 (1,203千円)		9,462千円 (1,238千円)
R8,9の 方向性	障害のある方への理解を進めるため、一般区民の参加者数増加を目指すとともに、民間事業者に対しても周知・啓発を図る。				
成果 指標	受講者数（人）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	1,350	1,564	115.9%	1,550	1,550
活動 指標	講座等開催回数（回）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	60	66	110.0%	70	70
備考	障害者福祉事業経費(一部)、認知症サポーター養成事業経費(介護保険事業会計)、介護予防活動支援事業経費				

3-①-7 福祉人材の確保・支援と福祉サービスの質の向上

100	3-①-7	1	福祉人材の確保・養成・定着支援事業《一部介護保険事業会計》 〔高齢者福祉課、障害福祉課、介護保険課〕		
概要	福祉人材の確保・養成・定着に向けて、研修開催や事業所支援、普及啓発、就職などの取組と、福祉サービス提供者の資質向上に向けた研修受講や資格取得に関する助成を行う。				
R5実績		R6予算		R7計画	
●介護人材対策事業 ・介護事業者研修 実施回数5回 申込者数222人 ・資格取得助成 34件 ・入門的研修 実施回数2回 受講人数62人 ・「マンガでわかる！介護のお仕事」 パンフレット 印刷部数3,000冊		●介護人材対策事業 ・介護事業者研修 実施回数 5 回 ・資格取得助成 63件 ・入門的研修 実施回数3回 ・「マンガでわかる！介護のお仕事」 パンフレット 印刷部数3,000冊 ・中小介護事業者事業協働化支援事業 1 件		●介護人材対策事業 ・介護事業者研修 実施回数 7 回 ・資格取得助成 63件 ・入門的研修 実施回数 3 回 ・「マンガでわかる！介護のお仕事」 パンフレット 印刷部数3,000冊	
●介護職員宿舎借り上げ支援事業 ・交付実績 1件		●介護職員宿舎借り上げ支援事業 4件		●介護職員宿舎借り上げ支援事業 8件	
●認知症介護実践者等養成事業 ・実践者研修 実施回数 2回 受講人数 34人		●認知症介護実践者等養成事業 ・実践者研修 実施回数 2回		●認知症介護実践者等養成事業 ・実践者研修 実施回数 2回	
●介護支援専門員・事業者等支援事業 ・ケアマネジャー研修 実施回数 6 回 受講人数347人		●介護支援専門員・事業者等支援事業 ・ケアマネジャー研修 実施回数 4回		●介護支援専門員・事業者等支援事業 ・ケアマネジャー研修 実施回数 4回	
●障害関連研修経費の助成件数 ・強度行動障害支援養成研修 5件 ・同行援護従事者養成研修 5件		●障害関連研修経費の助成 ・喀痰吸引（第1～3号） ・強度行動障害支援養成研修（基礎/実践） ・同行援護従事者養成研修（一般/応用）		●障害関連研修経費の助成 ・喀痰吸引（第1～3号） ・強度行動障害支援養成研修（基礎/実践） ・同行援護従事者養成研修（一般/応用） ・移動支援従事者研修（全身性/知的）	
事業費 （一財）	9,765千円 （2,571千円）		19,033千円 （5,981千円）		22,240千円 （7,643千円）
R8,9の 方向性	・介護人材対策事業、介護職員宿舎借り上げ事業、認知症介護実践者等養成事業を継続実施する。 ・ケアマネジャー研修を継続実施する。 ・移動支援を担う事業所を増やすため、ガイドヘルパー研修の受講を促す。				
成果 指標	介護に関する入門的研修の受講者アンケート「介護分野で働くことの不安が全てまたは少しは払拭された」と回答する割合（％）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	100.0	81.5	81.5％	83.0	85.0
活動 指標	資格取得や研修受講費用等の助成件数（件）（介護資格/喀痰吸引研修等）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	85	44	51.8％	80	85
備考	介護人材対策事業経費(介護保険事業会計)、介護職員宿舎借り上げ支援事業経費(介護保険事業会計)、認知症介護実践者等養成事業経費(介護保険事業会計)、介護支援専門員・事業者等支援事業経費(介護保険事業会計)、障害福祉サービス事業者研修費用助成事業経費				

101	3-①-7	2	サービス給付の適正化事業《一部介護保険事業会計》 〔障害福祉課、介護保険課〕		
概要	基準に沿った適正な運用と質の高いサービスの提供がなされるよう、事業者への計画的な指導・支援の実施や、第三者評価の受審勧奨に取り組む。				
R5実績			R6予算		R7計画
【介護保険】 ●給付適正化事業 ・運営指導実施件数25件 （照会事務の一部委託） ・医療情報との突合・縦覧点検1,763件 ●第三者評価支援事業 ・介護サービス第三者評価受審費用助成 28件			【介護保険】 ●給付適正化事業 ・運営指導実施件数68件 （照会事務の一部委託） ・医療情報との突合・縦覧点検1,500件 ●第三者評価支援事業 ・介護サービス第三者評価受審費用助成 37件		【介護保険】 ●給付適正化事業 ・運営指導実施件数40件 （照会事務の一部委託） ・医療情報との突合・縦覧点検1,500件 ●第三者評価支援事業 ・介護サービス第三者評価受審費用助成 38件
【障害福祉サービス】 ●指導検査 ・実地指導実施件数 32件 ・集団指導 2回			【障害福祉サービス】 ●指導検査 ・実地指導実施件数 40件 ・集団指導 2回		【障害福祉サービス】 ●指導検査 ・実地指導実施件数 40件 ・集団指導 2回
事業費 （一財）	13,710千円 （5,152千円）		22,989千円 （6,926千円）		20,805千円 （6,376千円）
R8,9の 方向性	事業者への計画的な指導、第三者評価の定期的な受審への支援を継続				
成果 指標	介護サービス及び障害福祉サービス指摘事項改善件数（件）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	278	288	103.6%	291	291
活動 指標	介護事業所運営指導、障害福祉サービス事業者指導検査実施件数（件）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	75	73	97.3%	80	80
備考	給付適正化対策事業経費(介護保険事業会計)、第三者評価支援事業経費(介護保険事業会計)、障害福祉サービス等事業者指導検査事業経費				

102	3-①-7	3	虐待防止対策事業《一部介護保険事業会計》 〔高齢者福祉課、障害福祉課〕		
概要	要介護高齢者・認知症高齢者、障害者に対する虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の適切な支援を行う。				
R5実績		R6予算		R7計画	
●高齢者虐待防止事業 ・専門相談 36回 ・高齢者虐待対応決定会議 3回		●高齢者虐待防止事業 ・専門相談 36回 ・高齢者虐待対応決定会議 4回		●高齢者虐待防止事業 ・専門相談 36回 ・高齢者虐待対応決定会議 4回	
●認知症ケア向上推進事業 ・認知症支援講座 4回 ・認知症カフェ 173回		●認知症ケア向上推進事業 ・認知症支援講座 4回 ・認知症カフェ 175回		●認知症ケア向上推進事業 ・認知症支援講座 4回 ・認知症カフェ 175回	
●障害者虐待防止対策 ・事業者向け研修会の開催 3回 ・弁護士相談 12回 ・受理件数：20件、認定件数8件		●障害者虐待防止対策 ・事業者向け研修会の開催 3回 ・弁護士相談 12回 ・虐待相談受付		●障害者虐待防止対策 ・事業者向け研修会の開催 3回 ・弁護士相談 12回 ・虐待相談受付	
事業費 (一財)	4,928千円 (1,537千円)	6,971千円 (2,306千円)		7,332千円 (2,432千円)	
R8,9の 方向性	・専門家による相談事業や、高齢者総合相談センターを支援を行い高齢者への虐待の早期発見、防止に取り組んでいく。 ・障害者虐待の事実の確認が難しい養護者虐待について、ケースワーカーとの連携を密にし、未然防止に努める。				
成果 指標	高齢者・障害者虐待に関する相談受付件数（件）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	110	102	92.7%	110	110
活動 指標	障害者虐待防止対策講演会の年間参加者数（人）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	30	37	123.3%	32	35
備考	高齢者虐待防止事業経費、認知症ケア向上推進事業経費(介護保険事業会計)、障害者虐待防止対策支援事業経費				

3-②-1 健康に関する気づきの推進

103	3-②-1	1	健康診査・特定保健指導事業《一部国民健康保険事業会計、後期高齢者医療事業会計》 〔国民健康保険課、高齢者医療年金課、地域保健課〕		
概要	生活習慣病の発病予防と重症化予防の一環として、切れ目ない定期的な健診の受診を勧奨するとともに、メタボ対象者以外にも生活習慣病予防のための事業を充実させ、重症化予防のための保健指導を実施する。				
R5実績		R6予算		R7計画	
●健康診査 特定 受診者数 13,207人（35.0%） 長寿 受診者数 13,190人（45.4%） 福祉 受診者数 808人（16.1%） 施設 受診者数 901人（92.7%） ●保健指導 ①特定保健指導 初回面接終了者数 動機付け 244人 積極的 66人 （うち、当日保健指導 95人） ②糖尿病重症化予防事業 予防のための保健指導受講者数 集団支援 192人 個別支援 362人 医療機関受診勧奨実施者数 347人 腎症予防事業 尿アルブミン検査数 152人 区保健指導実施数 30人		●健康診査 特定 受診者数 15,500人 長寿 受診者数 14,400人 福祉 受診者数 1,000人 施設 受診者数 900人 ●保健指導 ①特定保健指導 初回面接終了者数 動機付け 530人 積極的 250人 （うち、当日保健指導 340人） ②糖尿病重症化予防事業 予防のための保健指導受講者数 集団支援 150人 個別支援 350人 医療機関受診勧奨実施者数 600人 腎症予防事業 400人		●健康診査 特定 受診者数 14,000人 長寿 受診者数 14,500人 福祉 受診者数 1,000人 施設 受診者数 980人 ●保健指導 ①特定保健指導 初回面接終了者数 動機付け 610人 積極的 230人 （うち、当日保健指導 340人） ②糖尿病重症化予防事業 予防のための保健指導受講者数 集団支援 150人 個別支援 350人 医療機関受診勧奨実施者数 600人 腎症予防事業 400人	
事業費 （一財）	413,428千円 （196,728千円）		482,439千円 （280,638千円）		470,944千円 （286,229千円）
R8,9の 方向性	データヘルス計画に基づき、特定健康診査は積極的な受診勧奨により受診率向上を図り、保健指導の勧奨も強化する。長寿健康診査は、後期高齢者医療制度加入者が増加見込みであることから、着実な受診者増につながるよう受診勧奨を実施する。				
成果 指標	特定健診受診率（％）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	35.0	35.0	100.0％	37.0	38.0
活動 指標	受診勧奨電話をした特定健診未受診者のうち、その後受診した人の割合（％）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	54.3	54.2	99.8％	54.5	54.8
備考	特定健康診査区独自検査項目経費、福祉健康診査経費、介護老人施設入所者健康診査経費／糖尿病重症化予防等による医療費適正化事業経費、特定健康診査・特定保健指導事業経費（国民健康保険事業会計）／健康診査関係経費（後期高齢者医療事業会計）				

104	3-②-1	2	がん検診事業 〔地域保健課〕		
概要	国の指針に基づく胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんに加え、区独自で前立腺がん検診、HPV検査併用の子宮頸がん検診、胃がんリスク評価（ピロリ菌検査・ABC検査）を実施する等、がん検診の受診率向上を図る。				
R5実績			R6予算		R7計画
受診者数（実人数） ●胃がん検診 X線 4,322人／内視鏡 6,518人 リスク評価(ピロリ菌・ABC) 1,839人 ●肺がん検診 12,609人 ●大腸がん検診 14,048人 ●子宮頸がん検診 9,692人 うち、HPV検査 1,263人 ●乳がん検診 6,910人 ●前立腺がん検診 2,561人			受診者数（実人数） ●胃がん検診 X線 4,900人／内視鏡 6,100人 リスク評価(ピロリ菌・ABC) 2,600人 ●肺がん検診 12,450人 ●大腸がん検診 15,000人 ●子宮頸がん検診 9,600人 うち、HPV検査 1,400人 ●乳がん検診 6,910人 ●前立腺がん検診 2,561人		受診者数（実人数） ●胃がん検診 X線 4,600人／内視鏡 6,600人 リスク評価(ピロリ菌・ABC) 2,400人 ●肺がん検診 12,800人 ●大腸がん検診 15,000人 ●子宮頸がん検診 9,700人 うち、HPV検査 1,300人 ●乳がん検診 7,000人 ●前立腺がん検診 2,970人 胃がん検診読影委員会運営事業 がん検診検体回収費計上
事業費 （一財）	652,540千円 (640,440千円)		666,928千円 (653,733千円)		694,289千円 (682,337千円)
R8,9の 方向性	国の指針に基づく5つのがん検診については受診勧奨を強化し、指針外のがん検診については、国の動向や他区の状況を注視しながら、引き続き実施していく。R8年度は指針に沿った実施体制を検討していく。				
成果 指標	区民意識調査「がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」について肯定的な回答をする区民の割合（％）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	59.0	55.3	93.7%	59.5	60.0
活動 指標	がんに関する知識の普及啓発事業の開催回数（回）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	2	2	100.0%	2	2
備考	がん検診関係経費【拡】				

105	3-②-1	3	がん対策推進事業 〔地域保健課〕		
概要	がん対策推進会議の運営を行い、「がん対策推進計画」に基づき、がん予防やがん患者支援のための施策を推進する。がん対策基金を活用して、がんに関する正しい理解や意識を持てるよう普及啓発事業を行う。				
R5実績		R6予算		R7計画	
がん対策推進会議 1回 がん患者のウィッグ・胸部補整具等購入 費用助成件数 92件 小児・AYA世代のがん啓発イベント 3回 がん対策推進特別講演会 1回 参加者数 90名		がん対策推進会議 1回 がん患者のウィッグ・胸部補整具等購入 費用助成件数 80件 小児・AYA世代のがん啓発イベント 1回 がん対策推進特別講演会 1回		がん対策推進会議 4回 がん患者のウィッグ・胸部補整具等購入 費用助成件数 80件 小児・AYA世代のがん啓発イベント 1回 がん対策推進特別講演会 1回	
事業費 (一財)	1,336千円 (750千円)	4,002千円 (2,056千円)		5,537千円 (3,128千円)	
R8,9の 方向性	他区の動向を注視しながら、がん患者のウィッグ・胸部補整具等購入費用助成事業の補助対象の拡充を検討する。				
成果 指標	がん患者のウィッグ・胸部補整具等購入経費助成数（件）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	80	92	115.0%	80	80
活動 指標	がん対策推進特別講演会開催回数（回）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	1	1	100.0%	1	1
備考	がん対策推進事業経費(1)がん対策推進事業経費(2)がん対策基金関連事業経費				

106	3-②-1	4	受動喫煙防止対策事業 〔地域保健課〕		
概要	健康増進、がん予防の観点から屋内における受動喫煙を防止するため各種事業を実施する。				
R5実績			R6予算		R7計画
子どものための禁煙外来治療費助成 申請件数 3件 助成件数 3件			子どものための禁煙外来治療費助成 申請件数 10件 助成件数 10件		子どものための禁煙外来治療費助成 申請件数 5件 助成件数 5件 禁煙外来治療費助成 申請件数 20件 助成件数 20件
事業費 (一財)	66千円 (36千円)		237千円 (122千円)		204千円 (104千円)
R8,9の 方向性	・たばこによる健康被害の啓発強化 ・実績と他区の動向を踏まえて効果的な受動喫煙防止対策を検討していく。				
成果 指標	子どものための禁煙外来治療費助成数（件）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	5	3	60.0%	5	5
活動 指標	子どものための禁煙外来治療費助成申請数（件）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	5	3	60.0%	5	5
備考	がん対策推進事業経費（3）受動喫煙防止対策事業経費【拡】				

107	3-②-1	5	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 （いきいき100歳健康づくり事業・糖尿病重症化予防事業）《後期高齢者医療事業会計》 〔高齢者福祉課、地域保健課、高齢者医療年金課〕		
概要	高齢者の心身の多様な課題に対応し、地域の健康課題の分析を行い、糖尿病・低栄養・口腔機能低下・高血圧重症化予防、健康状態不明者において、個別的支援、通いの場への積極的な関与を実施する。長寿健康診査の結果に基づいた受診勧奨を行い、生活習慣病を予防する。				
R5実績			R6予算		R7計画
【高齢者福祉課】 重症化予防個別相談実施者数 22人 アウトリーチ講習会(リスク対象者)実施28回 健康状態不明者の把握 22名 【地域保健課】 受診勧奨者数 129人 【高齢者医療年金課】 関係者連絡会1回、PT2回開催			【高齢者福祉課】 重症化予防個別相談実施者数 30人 集団セミナー実施 8回 健康状態不明者の把握 30名 【地域保健課】 重症化予防個別相談実施者数 18人 【高齢者医療年金課】 関係者連絡会1回、PT2回開催		【高齢者福祉課】 重症化予防個別相談実施者数 30人 集団セミナー実施 9回 健康状態不明者の把握 30名 【地域保健課】 重症化予防個別相談実施者数 25人 【高齢者医療年金課】 関係者連絡会1回、PT2回開催
事業費 (一財)	1,835千円 (△43千円)		4,728千円 (0千円)		4,473千円 (309千円)
R8,9の 方向性	後期高齢者の健康課題を踏まえ、ハイリスクアプローチを充実させていく。				
成果 指標	豊島区の一人当たりの医療給付費（円） ※減が目標				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	933,792	921,710	101.3%	959,004	969,553
活動 指標	重症化予防個別相談実施数（人）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	35	44	125.7%	70	85
備考	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業経費(後期高齢者医療事業会計) ※成果指標「豊島区の一人当たりの医療給付費（円）」は抑制を目指す、医療の高度化等により医療給付費の増大が予測されることから、計画値を増と設定した。				

3-②-2 こころと体の健康づくりの推進

108	3-②-2	1	生活習慣病予防事業 【健康推進課、長崎健康相談所】		
概要	20～39歳男性の区民を対象に生活習慣病予防健診を行う。また、おおむね65歳未満の区民を対象に健康教室等を実施する。				
R5実績		R6予算		R7計画	
生活習慣病予防健診 12回 307人		生活習慣病予防健診 12回		生活習慣病予防健診 12回	
歯科健康教育 1回 30人		歯科健康教育 1回			
メタボ予防教室 1回 9人		メタボ予防教室 1回		メタボ予防教室 1回	
事業費 (一財)	2,801千円 (2,747千円)	2,980千円 (2,889千円)		3,326千円 (3,253千円)	
R8,9の 方向性	生涯にわたり健康で暮らせるよう、若年期からの生活習慣病予防対策を推進する。				
成果 指標	区民意識調査「健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている」について肯定的な回答をする区民の割合（％）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	—	—	—	30.0	32.0
活動 指標	生活習慣病予防健診受診者数（人）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	250	307	122.8%	340	350
備考	健康推進費：生活習慣病予防事業経費、健康推進管理運営経費(一部) 長崎健康相談所費：生活習慣病予防事業経費				

109	3-②-2	2	女性のしなやか健康づくり 【健康推進課、長崎健康相談所】		
概要	20～39歳の女性の区民を対象に骨太健診を行う。ライフステージに合わせて女性の健康づくりを推進するため、女性のための健康相談・健康教室等を実施する。				
R5実績		R6予算		R7計画	
●女性の骨太健診 12回410人 ●女性のための健康相談事業 実施回数 10回 参加人数 32人 ●女性の健康教室（健康推進課） ・PMS（月経前症候群） 3回30人 ・尿もれ予防教室 3日制×2回 延61人 ●骨密度測定・教室（長崎健康相談所） ・骨太教室 2回 13人 ・ホルモンバランスを整える教室 3回 16人 ・出張測定相談会1回 延 322人 ●乳幼児の母親の骨密度測定・食事指導 ・3～4ヶ月児健診時 健康推進課 24回 815人 長崎健康相談所 12回 433人 ・3歳児健診時 健康推進課 24回 833人 長崎健康相談所 12回 403人		●女性の骨太健診 12回 ●女性のための健康相談事業 実施回数 10回 ●女性の健康教室（健康推進課） ●骨密度測定・教室（長崎健康相談所） ・骨太教室 2回 ・ホルモンバランスを整える教室 3回 ・出張測定相談会 1回 ●乳幼児の母親の骨密度測定・食事指導 ・3～4ヶ月児健診時 健康推進課 24回 長崎健康相談所 12回 ・3歳児健診時 健康推進課 24回 長崎健康相談所 12回		●女性の骨太健診 12回 ●女性のための健康相談事業 ●女性の健康教室（健康推進課） ●骨密度測定・教室（長崎健康相談所） ・骨太教室 2回 ・ホルモンバランスを整える教室 3回 ・出張測定相談会 1回 ●乳幼児の母親の骨密度測定・食事指導 ・3～4ヶ月児健診時 健康推進課 24回 長崎健康相談所 12回 ・3歳児健診時 健康推進課 24回 長崎健康相談所 12回	
事業費 （一財）	7,536千円 (2,995千円)	10,379千円 (5,259千円)		10,999千円 (5,224千円)	
R8,9の 方向性	ライフステージに合わせた女性の健康づくりを推進する。				
成果 指標	自分の体格を正しく理解している人の割合(問診票の自己評価による) (%)				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	45.0	49.0	108.9%	50.0	51.0
活動 指標	骨太健診受診者数（人）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	400	410	102.5%	430	440
備考	健康推進費：女性のしなやか健康づくり経費、健康推進管理運営経費(一部) 長崎健康相談所費：女性のしなやか健康づくり経費				

110	3-②-2	3	食育推進事業 〔地域保健課、健康推進課、長崎健康相談所〕		
概要	豊島区食育推進プランの基本理念「食を通じて、健康な身体と思いやる心をはぐくむ」に沿い、食育フェアや食育講演会、食育講座を通じて、ライフステージ別の食育推進に資する事業を行う。				
R5実績		R6予算		R7計画	
食育コンクール、イベント	3回	食育コンクール、イベント	3回	食育コンクール、イベント	3回
食育講座（小学生～大人）	3回	食育講座（小学生～大人）	3回	食育講座（小学生～大人）	3回
食育講演会（健康推進課）	2回	食育講演会（健康推進課）	2回	食育講演会（健康推進課）	2回
栄養講習会	44回	栄養講習会	44回	栄養講習会	35回
離乳食講習会	42回	離乳食講習会	42回	離乳食講習会	42回
西武FF協定事業	1回	西武FF協定事業	1回	公民連携事業	1回
事業費 （一財）	3,325千円 （2,439千円）		3,780千円 （2,842千円）		3,926千円 （2,667千円）
R8,9の 方向性	年代や生活に合わせた適切な栄養が摂れる食生活を身につける取組や情報発信を進め、健診や講習会を継続的に実施していく。				
成果 指標	区民意識調査「健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている」について肯定的な回答をする区民の割合（％）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	—	—	—	17.5	18.0
活動 指標	食育講演会等事業実施数（回）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	103	95	92.2％	95	86
備考	地域保健費：食育推進事業経費／健康推進費：健康推進管理運営経費（一部）、栄養指導経費（一部）、乳児健康診査経費（一部）／長崎健康相談所費：栄養指導経費（一部）				

111	3-②-2	4	歯と口腔の健康づくり 【地域保健課、健康推進課、長崎健康相談所】		
概要	「ライフステージに応じた歯の自己管理法を身に着ける人」が増えることを目指し、20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70・75歳を対象に歯周病検診、76～84歳の偶数年齢を対象に高齢者歯科健診、妊娠1回につき1回の妊産婦歯科健康診査を実施する。				
R5実績		R6予算		R7計画	
●妊産婦歯科健康診査 ・受診者数・率 890人・40.3% (妊婦743人、産婦147人) ●歯周病検診 (1)実施期間 令和5年7～11月 (2)受診者数・率 2,387人・8.2% ●高齢者歯科健診 (1)実施期間 令和5年7～11月 (2)受診者数・率 1,245人・11.6% (うち、訪問歯科健診 6人)		●妊産婦歯科健康診査 (妊娠1回につき1回) ●歯周病検診 (1)実施期間 令和6年7月～11月 (2)受診予定者数 3,000人 ●高齢者歯科健診 (1)実施期間 令和6年7月～11月 (2)受診予定者数 1,180人 (うち、訪問歯科健診 80人)		●妊産婦歯科健康診査 (妊娠1回につき1回) ●歯科健康教育(講演会) 1回 ●歯周病検診 (1)実施期間 令和7年7～11月 (2)受診予定者数 3,000人 ●高齢者歯科健診 (1)実施期間 令和7年7～11月 (2)受診予定者数 1,180人 (うち、訪問歯科健診 50人)	
事業費 (一財)	37,944千円 (31,026千円)	42,661千円 (36,445千円)		44,191千円 (37,093千円)	
R8,9の 方向性	若年層に対し、歯周病検診事業の周知を図り、受診勧奨				
成果 指標	60歳でかかりつけ歯科医を持つ人の割合(%)				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	72	70	97.2%	72	74
活動 指標	妊産婦歯科健診・歯周病検診受診者数(人)				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	3,400	3,277	96.4%	3,400	3,500
備考	地域保健費：歯周病検診事業経費【拡】 健康推進費：妊産婦歯科健康診査事業経費、健康推進管理運営経費(一部)				

112	3-②-2	5	こころの健康 【保健予防課、健康推進課、長崎健康相談所】		
概要	精神的な課題を抱えている方及び家族に対して、専門医・保健師等による相談を行う。また、自殺・うつ病の予防対策として、相談窓口の周知、ゲートキーパーや心のサポーターの養成、若年層の自殺予防対策の充実強化を行う。				
R5実績		R6予算		R7計画	
●精神保健対策：相談事業 1) 普及啓発 3回 2) 精神保健福祉相談 専門医相談件数 18回 延べ43人 精神保健福祉士相談件数 12回 延べ29人 保健師等相談件数（面接・電話・訪問） 延べ3,417人 ●自殺うつ病予防対策 自殺・うつ病の対策委員会 4回 自殺対策計画推進会議 1回 ゲートキーパー養成講座 15回 353人 ストレスマネジメントの普及啓発 15,350人 ●精神保健アウトリーチ支援事業 訪問及び面接等による支援実施 対象者実人数 22人 支援件数 延べ481人		●精神保健対策：相談事業 1) 普及啓発 3回 2) 精神保健福祉相談 専門医 18回 精神保健福祉士 6回 保健師等（随時相談） ●自殺うつ病予防対策 自殺・うつ病の対策委員会 2回 自殺対策計画推進会議 1回 ゲートキーパー養成講座 3回 ストレスマネジメントの普及啓発 ●精神保健アウトリーチ支援事業 訪問及び面接等による支援実施		●精神保健対策：相談事業 1) 普及啓発 講演会 2回 心のサポーター養成研修 2回 2) 精神保健福祉相談 専門医 18回 精神保健福祉士 6回 保健師等（随時相談） ●自殺うつ病予防対策 自殺・うつ病の対策委員会 2回 自殺対策計画推進会議 1回 ゲートキーパー養成講座 2回 ストレスマネジメントの普及啓発 ●精神保健アウトリーチ支援事業 訪問及び面接等による支援実施	
事業費 （一財）	4,251千円 (2,836千円)	4,030千円 (2,554千円)	4,256千円 (2,750千円)		
R8,9の 方向性	精神障害者のみならず、精神に課題を抱える者も対象に含めた相談支援体制の充実と関係機関との連携強化				
成果 指標	区民意識調査「健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている」について肯定的な回答をする区民の割合（％）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	—	—	—	17.5	18.0
活動 指標	精神保健福祉相談件数（件）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	3,200	3,489	109.0%	3,500	3,500
備考	保健予防費：こころの健康事業経費 健康推進費：健康推進管理運営経費(一部)、長崎健康相談所費：精神保健事業経費				

3-②-3 健康危機管理の強化

113	3-②-3	1	感染症対策 【保健予防課】		
概要	感染症の発生予防及びまん延防止のため各種検査・相談、療養支援の実施、重症化予防のための任意予防接種の推進を図る。新型インフルエンザ等の感染拡大防止など、関係機関との連携により健康危機発生時の管理体制を強化する。				
R5実績		R6予算		R7計画	
感染症疫学調査件数 1,090 件 HIV検査 12回 550 件、肝炎検査24回 632件 ●結核対策 日本語学校生健診1,959人 結核患者服薬支援91人 ●予防接種 ・おたふくかぜワクチン接種助成 1,751件 ・先天性風しん症候群予防対策事業 抗体検査1,020件、予防接種651件 ・带状疱疹ワクチン接種助成 生ワクチン428件、不活化 7,700件 新型インフルエンザ等対策推進協議会3回 訓練・研修実施 1回 医薬品の購入		感染症疫学調査 HIV検査 12回、肝炎検査24回 ●結核対策 日本語学校生健診2,000人 結核患者服薬支援160人 ●予防接種 ・おたふくかぜワクチン（全額助成1回） ・先天性風しん症候群予防対策（全額助成） ・带状疱疹ワクチン（一部助成） ・男性のHPVワクチン（全額助成） 〔補正予算分〕 ・高齢者肺炎球菌任意接種（一部助成） 24,101千円（16,601） ・小児インフルエンザワクチン（一部助成） 58,993千円（36,967） 新型インフルエンザ等対策推進協議会 訓練・研修実施 医薬品の購入		感染症疫学調査 HIV検査 12回、肝炎検査24回 ●結核対策 日本語学校生健診2,000人 結核患者服薬支援160人 ●予防接種 ・おたふくかぜワクチン（1回目全額、2回目一部助成） ・先天性風しん症候群予防対策（全額助成） ・带状疱疹ワクチン（一部助成） ・男性のHPVワクチン（全額助成） ・小児インフルエンザワクチン（一部助成） 新型インフルエンザ等対策推進協議会 訓練・研修実施 医薬品の購入	
事業費 （一財）	132,942千円 (44,959千円)	269,827千円 (145,807千円)		188,230千円 (98,217千円)	
R8,9の 方向性	・予防接種の推進 ・感染症危機の発生に備えた体制を強化				
成果 指標	HIV・性感染症、肝炎検査件数（件）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	1,080	1,182	109.4%	1,250	1,300
活動 指標	HIV・性感染症、肝炎検査実施回数（回）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	36	36	100.0%	36	36
備考	保健予防管理運営経費（一部）、新型インフルエンザ等対策経費、感染症対策事業経費、予防接種事業経費(2)おたふくかぜワクチン接種助成経費【拡】(3)先天性風しん症候群予防対策経費(4)带状疱疹ワクチン接種助成経費(5)HPVワクチン男性接種助成経費(6)小児インフルエンザワクチン接種助成経費				

114	3-②-3	2	食品衛生関係事業 【生活衛生課】		
概要	食品衛生監視指導計画に基づき、食品取扱施設の監視指導、食品等の収去検査、食中毒・苦情・違反食品等の調査を行う。また、事業者に対し食品衛生に関する講習会を実施する。				
R5実績			R6予算		R7計画
監視指導 割合1.4件／人日			監視指導 割合2.5件／人日		監視指導 割合1.2件／人日
事業費 (一財)	18,032千円 (△5,234千円)		29,643千円 (6,483千円)		29,556千円 (6,393千円)
R8,9の 方向性	小規模店舗や外国人事業者でもHACCPに沿った衛生管理をできるよう、導入と定着の継続的な支援を実施する。				
成果 指標	区民意識調査「感染症や食中毒等に不安を感じることが少ない」について肯定的な回答をする区民の割合（％）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	37.0	38.3	103.5%	37.9	39.0
活動 指標	講習会実施回数（回）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	30	31	103.3%	32	33
備考	食品衛生関係経費				

115	3-②-3	3	熱中症予防対策 〔防災危機管理課、高齢者福祉課、地域保健課、健康推進課、長崎健康相談所〕		
概要	さまざまな媒体を活用して熱中症予防策を積極的に呼びかけ、涼みどりの開放や一人暮らし高齢者への個別訪問による注意喚起を行うなど、夏季の健康管理や地域での見守りを推進する。				
R5実績			R6予算		R7計画
●熱中症対策本部 4回 ●熱中症予防の普及啓発 ●涼みどりの開放 区民ひろば26か所 ●高齢者等個別訪問 6,408世帯			●熱中症対策本部 4回 ●熱中症予防の普及啓発 ポスター、チラシ、のぼり旗の作成・配布 ●涼みどりの開放 としま涼みどころ 43か所、涼みどころ薬局 29箇所 ●高齢者等個別訪問 8,800世帯		●熱中症対策本部 4回 ●熱中症予防の普及啓発 ポスター、チラシの作成・配布 ●涼みどりの開放 ●高齢者等個別訪問 9,800世帯
事業費 (一財)	1,045千円 (522千円)		2,258千円 (1,379千円)		2,382千円 (1,186千円)
R8,9の 方向性	関係機関・民間企業との連携による熱中症予防対策の強化				
成果 指標	熱中症のため救急搬送された人数（人） ※減が目標				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	175.0	196.0	112.0%	200	195
活動 指標	熱中症予防策の情報発信数（回）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	27	11	40.7%	15	17
備考	防災危機管理課：危機管理関係経費（一部）、地域保健課：災害医療等事業経費（一部）、 高齢者福祉課：高齢者見守り支援事業経費（一部）				

3-②-4 地域医療体制の充実

116	3-②-4	1	休日診療・夜間小児初期診療事業 〔地域保健課〕		
概要	休日(土曜日、日曜日、祝日、年末年始)に内科・小児科、歯科の休日診療、休日調剤を行うとともに、平日週5日間の準夜間帯に満15歳以下の小児を対象とした初期救急診療事業を実施する。				
R5実績			R6予算		R7計画
休日診療			休日診療		休日診療
・内科・小児科 2,916人			・内科・小児科 6,400人		・内科・小児科 6,400人
・歯科 238人			・歯科 380人		・歯科 380人
・調剤 2,772人			・調剤 5,900人		・調剤 5,900人
・小児初期診療 492人			・小児初期診療 630人		・小児初期診療 630人
事業費 (一財)	76,089千円 (74,140千円)		73,761千円 (71,852千円)		67,063千円 (65,074千円)
R8,9の 方向性	安定した休日診療の実施				
成果 指標	区民意識調査「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」について肯定的な回答をする区民の割合（％）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	49.2	49.2	100.0%	47.4	49.6
活動 指標	休日診療(池袋・長崎・歯科)の実施日数（日）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	124	124	100.0%	122	123
備考	休日診療・夜間小児初期救急診療事業経費(一部)【拡】				

117	3-②-4	2	在宅医療・介護連携推進事業《一部介護保険事業会計》 〔地域保健課〕		
概要	在宅医療連携推進会議を開催し検討を進めるとともに、在宅医療相談窓口及び歯科相談窓口を拠点として多職種連携による地域医療連携体制の充実を図る。住み慣れた地域で自ら望んだ医療を受けられるように、区民への啓発を進める。				
R5実績			R6予算		R7計画
・在宅医療連携推進会議及び部会 会議：3回 6部会：各0～1回 ・在宅医療に関する研修 在宅医療コーディネーター研修 （全5回）20名参加 訪問看護体験研修 22名参加 訪問リハ体験研修 11名参加 専門職スキルアップ研修等 1回 在宅リハビリテーション事業所紹介 1回 ・在宅医療関係者交流会 112名参加 ・区民向け講演会 4回 ・在宅医療相談窓口の運営 相談件数延べ 4,925件 ・在宅療養後方支援病床確保事業 14件96日 ・地域医療・介護ネットワーク構築事業補助 事業 ・地域医療資源情報システム随時更新 ・在宅医療連携拠点関連業務 ・豊島区リハビリテーション協議会の運営 ・豊島区看護師会連携事業 ・医療用麻薬管理及び高度管理医療 機器等貸出事業 ・歯科相談窓口の運営 相談件数延べ 986件 ・区民活動支援事業補助			・在宅医療連携推進会議及び部会 会議：3回 6部会：各1～2回 ・在宅医療に関する研修 10回 ・在宅医療関係者交流会 1回 ・区民向け講演会 4回 ・在宅医療相談窓口の運営 ・在宅療養後方支援病床確保事業 ・地域医療・介護ネットワーク構築事業補助事業 ・地域医療資源情報システム随時更新 ・在宅医療連携拠点関連業務 ・豊島区リハビリテーション協議会の運営 ・豊島区看護師会連携事業 ・医療用麻薬管理及び高度管理医療 ・歯科相談窓口の運営 ・区民活動支援事業補助		・在宅医療連携推進会議及び部会 会議：3回 6部会：各1～2回 ・在宅医療に関する研修 10回 ・在宅医療関係者交流会 1回 ・区民向け講演会 4回 ・在宅医療相談窓口の運営 ・在宅療養後方支援病床確保事業 ・地域医療・介護ネットワーク構築事業補助事業 ・地域医療資源情報システム随時更新 ・在宅医療連携拠点関連業務 ・豊島区リハビリテーション協議会の運営 ・医療用麻薬管理及び高度管理医療 ・歯科相談窓口の運営 ・区民活動支援事業補助
事業費 （一財）	37,996千円 （12,733千円）		39,807千円 （13,387千円）		40,032千円 （11,248千円）
R8,9の 方向性	四師会及び地域医療機関と連携し、在宅医療24時間診療体制の構築を進める。				
成果 指標	区民意識調査「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」について肯定的な回答をする区民の割合（％）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	49.2	49.2	100.0％	47.4	49.6
活動 指標	専門職向け研修開催回数（回）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	10	10	100.0％	10	10
備考	在宅医療推進関係事業経費（一般会計）【拡】、在宅医療連携推進会議・在宅医療相談窓口事業経費（介護保険会計）【拡】、在宅歯科医療相談窓口事業経費（介護保険会計） 本計画から、前回計画までの在宅医療連携推進会議・在宅医療相談窓口事業《一部介護保険事業会計》と在宅歯科医療相談窓口事業《介護保険事業会計》を統合し計画事業名を「在宅医療・介護連携推進事業」に改めて作成した。				

118	3-②-4	3	災害医療体制の構築・強化 〔地域保健課〕		
概要	各種訓練の実施、医療資器材の配備及び使用期限に応じた入替、関係機関との連携をより強化するための会議の開催等を通じ、災害時に迅速かつ適切に医療救護活動が実施できる体制の構築・強化を図る。				
R5実績		R6予算		R7計画	
災害医療訓練の実施 4回		災害医療訓練の実施 5回		災害医療訓練の実施 5回	
緊急医療救護所及び医療救護所の資器材配備・入替		緊急医療救護所及び医療救護所の資器材配備・入替		緊急医療救護所及び医療救護所の資器材配備・入替	
災害医療検討会議の開催 0回		災害医療検討会議の開催 2回		災害医療検討会議の開催 2回	
医療救護活動従事者の登録		医療救護活動従事者の登録		医療救護活動従事者の登録	
		〔補正予算分〕災害時医療関係者安否・参集状況確認システムの構築・運用 1,238千円		災害時医療関係者安否・参集状況確認システムの運用	
事業費 (一財)	12,133千円 (11,356千円)		12,645千円 (11,877千円)		10,250千円 (9,482千円)
R8,9の 方向性	・区民への情報発信の強化 ・区内病院や関係機関との連携強化				
成果 指標	医療救護活動従事者登録数（人）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	170	202	118.8%	173	210
活動 指標	災害医療訓練実施回数（回）				
	計画値	実績	達成率	R6計画値	R7計画値
	4	4	100.0%	5	5
備考	災害医療等事業経費（一部）				